

(お知らせ)

海上自衛隊の医官による外国船舶乗員への医療支援について

海上自衛隊の護衛艦「すずなみ」乗艦の医官が、外国船舶乗組員に対して医療支援を行いましたのでお知らせします。

1 時 期

平成25年5月8日（水）～5月9日（木）

2 発生場所

オマーン国マドラカ岬沖（インド洋北部）

3 事案の概要（時間は日本時間）

5月8日

17:41頃（現地時間12:40頃）

オマーン国マドラカ岬の東約180Kmを航行中の石油タンカー（ギリシャ船籍）から、乗組員1名が頭部を負傷したため、医師による医療支援の要請（無線通信）

19:19頃 付近を航海中の護衛艦「すずなみ」から、医官他合計3名が当該タンカーに乗船（ヘリコプターによる移動）

19:31頃 診察・応急処置開始

22:26頃 患者の容態は安定したものの、設備の整った病院における治療が必要と判断

5月9日

17:08頃 当該タンカーがオマーンの船舶代理店とオマーンへの負傷者の搬送を調整

17:30頃 医官他合計3名、「すずなみ」に帰艦

4 その他

（1）護衛艦「すずなみ」は、第14次派遣海賊対処行動水上部隊として、護衛艦「きりさめ」とともに、ソマリア沖・アデン湾での任務を終え、日本に向け航海中であつたものである。

（2）第14次派遣海賊対処行動水上部隊（隊員数約400名）

指揮官：第3護衛隊司令 1等海佐 下 淳一（しも じゅんいち）

「すずなみ」艦長 2等海佐 宮田 俊邦（みやた としくに）

「きりさめ」艦長 2等海佐 加世田孝行（かせだ たかゆき）